

## 2 大学

(1) 表4に示すとおり、平成26年3月卒業者のうちの就職者総数は2,195人で、前年より91人増加している。そのうち県内に就職した者は664人で、前年より12人減少している。県内就職率は30.3%で、前年より1.8ポイント低下している。

県内就職率を学部別でみると、家政学部が76.3%で、最も高い県内就職率となっており、前年より5.7ポイント上昇している。他の学部についてみると、文学部は48.3%（前年に比べ12.9ポイント低下）、商経学部は21.0%（同1.2ポイント上昇）、工学部は25.2%（同7.6ポイント低下）、医学部は50.0%（同0.3ポイント低下）、看護学部は52.1%（同9.2ポイント上昇）、教育学部は42.5%（同12.7ポイント低下）となっている。

3ページ表3に示したとおり、県外就職者は1,531人で、前年より103人増加している。県外就職の状況を就職先地方別でみると、関東535人（県外就職者総数に対する構成比34.9%）、九州・沖縄512人（同33.4%）、近畿174人（同11.4%）、その他の地方99人（同6.5%）、中国86人（同5.6%）の順となっている。

進学者総数は323人で、前年より8人増加している。県内進学率は65.9%で、前年より3.6ポイント低下している。

表4 学部別進路状況（大学）

（単位：人、％）

区 分	総 数		文学部		商経学部		工学部		医学部	
	26年3月	25年3月								
卒業生総数	3,261	3,168	283	291	1,820	1,753	578	554	154	157
就職者総数	2,195	2,104	143	129	1,231	1,178	326	311	146	147
就職率	67.3	66.4	50.5	44.3	67.6	67.2	56.4	56.1	94.8	93.6
うち県内就職者	664	676	69	79	259	233	82	102	73	74
県内就職率	30.3	32.1	48.3	61.2	21.0	19.8	25.2	32.8	50.0	50.3
進学者総数	323	315	19	17	79	89	184	171	3	2
進学率	9.9	9.9	6.7	5.8	4.3	5.1	31.8	30.9	1.9	1.3
うち県内進学者	213	219	13	5	7	13	166	166	1	2
県内進学率	65.9	69.5	68.4	29.4	8.9	14.6	90.2	97.1	33.3	100.0
一時的な仕事に就いた者	37	39	21	26	5	4	-	3	-	-
一時的な仕事に就いた者の率	1.1	1.2	7.4	8.9	0.3	0.2	-	0.5	-	-
うち県内居住者	16	21	10	13	3	2	-	1	-	-
県内居住率	43.2	53.8	47.6	50.0	60.0	50.0	-	33.3	-	-
その他総数	706	710	100	119	505	482	68	69	5	8
その他の率	21.6	22.4	35.3	40.9	27.7	27.5	11.8	12.5	3.2	5.1
うち県内居住者	95	102	32	31	36	30	17	22	2	3
県内居住率	13.5	14.4	32.0	26.1	7.1	6.2	25.0	31.9	40.0	37.5

つづき

区 分	看護学部		家政学部		教育学部	
	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月	26年3月	25年3月
卒業生総数	75	81	99	77	252	255
就職者総数	73	77	76	68	200	194
就職率	97.3	95.1	76.8	88.3	79.4	76.1
うち県内就職者	38	33	58	48	85	107
県内就職率	52.1	42.9	76.3	70.6	42.5	55.2
進学者総数	2	3	4	2	32	31
進学率	2.7	3.7	4.0	2.6	12.7	12.2
うち県内進学者	-	2	1	1	25	30
県内進学率	-	66.7	25.0	50.0	78.1	96.8
一時的な仕事に就いた者	-	-	10	5	1	1
一時的な仕事に就いた者の率	-	-	10.1	6.5	0.4	0.4
うち県内居住者	-	-	3	4	-	1
県内居住率	-	-	30.0	80.0	-	100.0
その他総数	-	1	9	2	19	29
その他の率	-	1.2	9.1	2.6	7.5	11.4
うち県内居住者	-	-	3	1	5	15
県内居住率	-	-	33.3	50.0	26.3	51.7

注) 医学部卒業者のうち臨床研修医については、「就職者総数」に含む。

(2) 図4に示すとおり、平成26年3月卒業者のうち就職者の産業別就職状況を見ると、卸売業、小売業が382人(17.4%、前年に比べ2.9ポイント上昇)で最も多く、次いで医療、福祉349人(15.9%、同0.2ポイント低下)、製造業253人(11.5%、同1.3ポイント低下)、金融業、保険業160人(7.3%、同0.5ポイント低下)の順となっている。

県内就職者を産業別で見ると、図5に示すとおり、医療、福祉が195人(29.4%、前年に比べ1.3ポイント上昇)で最も多く、次いで卸売業、小売業102人(15.4%、同3.4ポイント上昇)、教育、学習支援業56人(8.4%、同0.3ポイント低下)、金融業、保険業52人(7.8%、同0.3ポイント低下)の順となっている。

図4 産業別就職状況の推移(大学)

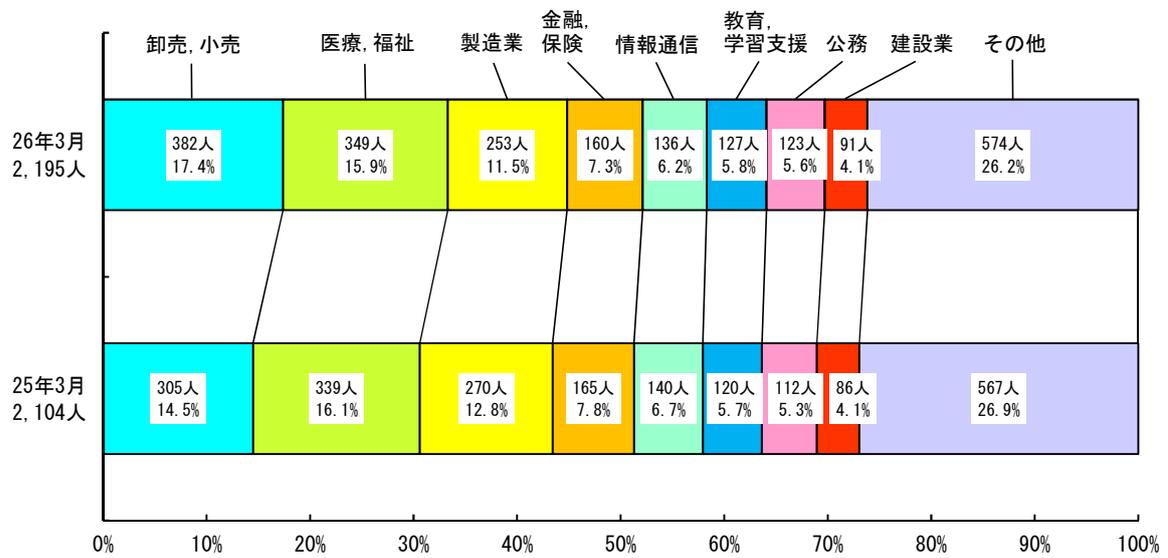


図5 産業別県内就職状況の推移(大学)

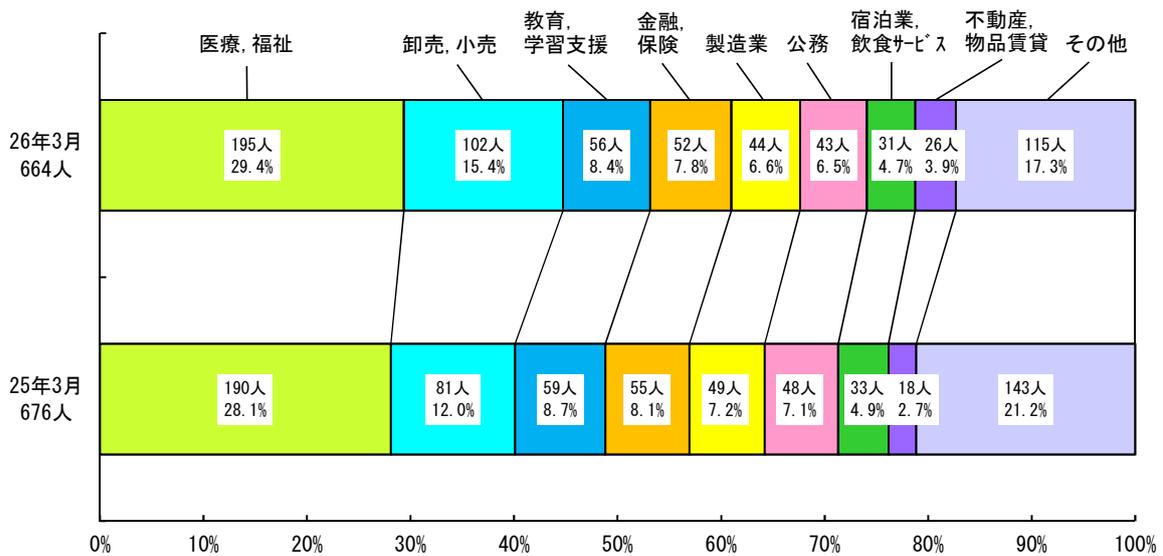


表3 県外就職者の就職先地方別状況

(単位：人、%)

区 分	県外 就職者数	県 外 就 職 者 の 内 訳							
		九州 ・ 沖縄	四国	中国	近畿	中部	関東	北海道 ・ 東北	その他
大学	1,531	512	37	86	174	78	535	10	99
構成比		33.4	2.4	5.6	11.4	5.1	34.9	0.7	6.5
短期大学・ 高等専門学校	178	82	7	7	18	7	54	2	1
構成比		46.1	3.9	3.9	10.1	3.9	30.3	1.1	0.6
専修学校 (専門課程)	408	249	9	16	43	6	82	-	3
構成比		61.0	2.2	3.9	10.5	1.5	20.1	-	0.7
高等学校	599	246	-	35	96	84	126	2	10
構成比		41.1	-	5.8	16.0	14.0	21.0	0.3	1.7
合計	2,716	1,089	53	144	331	175	797	14	113
構成比		40.1	2.0	5.3	12.2	6.4	29.3	0.5	4.2

注) 端数処理の関係で、各地方の構成比を合計しても100にならない場合がある。